

3年学年だより

和歌山県立星林高等学校

3号

2021年6月3日

・石徹白ほか（北里大学獣医学部、生物）

私が大学生となった今、伝えたいことは「挑戦することを恐れてはいけない」です。挑戦することは恥ずかしいことでも、大きな目標や理由が必ず必要というわけでもありません。自分が気になった、興味をもったその時がチャンスです。気張らずに、まずは自分の気の向くまま様々なことに挑戦してみてください。

・中本大智（福岡教育大学教育学部、地学）

私は福岡教育大学で天体や惑星について学んでいます。大学ではやりたかった研究も出来てとても充実した生活を送っています。高校の進路決定はこれからの人生に大きく影響します。視野を広げしっかり考えることで目標が明確になり、自分の現状を知ること何をするにいいかが見えてきます。残りの高校生活を有意義なものにしてください。

・出立 理人（阪南大学国際コミュニケーション学部、英語）

高校時代には当たり前のごとく気づきませんでした。毎日友達に会えることは幸せだったなと今になって思います。受験勉強や就職活動で離れた時、隣には毎日あなたを応援してくれる友達がいることを忘れないでください。貴重な残りの学生生活、大切な友達と悔いのない日々を送ることが出来るよう願っています。

・飯島美宥（関西大学人間健康学部、保健体育）

今しかできないことがあります。今、自分の目の前にあることに一生懸命取り組んで、どうせやるなら楽しんでください。今は嫌だと思ったり、面倒くさいと思うことでも、後で振り返ってみたら、すべて良かったときと思えます。だから、精一杯今を頑張ってください。きっとそれが自信に繋がります。

・山田向日葵（奈良教育大学教育学部、書道）

私は一年間浪人して奈良教育大学に入学しました。現役生の時、受験に失敗した理由は受験勉強の少なさにあると思います。勉強の質も大切ですが、量も必要です。受験勉強をしている際に、「もう駄目かも」と思う時がやってくると思います。しかし、それでも受験勉強を頑張るしかないのです。悔いのない高校生活となるよう応援しております。

主任のつぶやき

早いもので、1学期も中間考査が終わり、衣替えの季節になりました。就職の夏、受験勉強の夏がもうすぐやってきます。考査成績は言うまでもなく大切ですが、就職希望者は社会人となる心の準備はできていますか？また進学希望者はもう少し先へ視線を注ぎ、模試成績を何とか伸ばす努力をしよう。こつこつと勉強を！

☆ 中間考査の成績返却がありました。3年生初めての考査、手応えはありましたか？

中間考査の成績返却が済みました。範囲も狭く、高得点がとりやすい考査のはずですが、手応えはありましたか？努力不足のため、思うような成果が出なかった人もいるのではないのでしょうか。3年生は希望の進路実現に向けて、日々の授業・家庭学習を大切にしながら、誰もが学力を伸ばしていかなければなりません。それは進学希望者に限らず、就職・公務員希望者も同じです。特に推薦入試を考えている人は、この成績が進路に直結します。6月下旬にある期末考査に向けて、今からしっかりと学習を進めておこう。

☆ 教育実習生からみんなへメッセージ！

今年は7名の教育実習生が母校である星林高校に来ています。実習生の紹介と、先輩として皆さんに熱いメッセージをいただいています。今週末で終了する実習生もいますので、大学進学希望者は進路について、いろいろと質問できるこの機会を逃さないようにしましょう。

～後輩の皆さんへのメッセージ～

・辻瀬 未来（同志社女子大学表象文化学部、国語）

高校時代に経験したことは、すべて今後の自分の人生に大きく影響します。

今、部活や勉強、進路の悩みなどでしんどい思いをしている人もいると思いますが、その苦労は絶対に自分を強くしてくれます。

つらく、苦しく、立ち止まってしまういたくなくても、そこからもう一歩踏み出してみてください。

その努力は何年経っても忘れることのない、学生時代の素敵な思い出として自分の心に残るはずですよ。

・小根田侑雅（阪南大学経済学部、公民）

僕は大学生活でたくさんの考え方に触れ、人それぞれに大切にしたい想いや人生の軸があることを知りました。3年生のみなさんは今後将来について考える機会が多くなり、悩むこともあるかもしれません。自分で考えることも大切ですが、周りの人の考えに触れることで自分のやりたいことが見つかることもあると思います。高校生活での出会いを大切に多くの価値観に触れてください。